

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	公共交通対策特別委員会	会議場所	全員協議会室
		担当職員	鈴木智
日 時	令和2年5月27日(水曜日)	開 議	午前 10 時 00 分
		閉 議	午前 10 時 46 分
出席委員	◎石野 ○三宅 田中 山本 赤坂 奥野 福井		
執行機関出席者	【まちづくり推進部】並河部長、関事業担当部長 [都市計画課]関口課長 [まちづくり交通課]伊豆田課長、元古副課長、川内主幹		
事務局出席者	山内事務局長、鈴木議事調査係長		
傍聴者	市民1名	報道関係者0名	議員0名(一)

会 議 の 概 要

10:00

1 開議

[石野委員長 開議]
[議事調査係長 日程説明]

[まちづくり推進部 入室]

10:02

2 案件

(1) 令和元年度事業報告及び令和2年度事業計画について
[まちづくり推進部長 あいさつ]

10:05

[まちづくり交通課長 説明]

10:29

[質 疑]

<山本委員>

フリー乗降の状況や利用者の声はどうか。

<まちづくり交通課長>

地域こん談会で西部地域から要望があったことに対応したものである。また、亀岡市地域公共交通網形成計画にもうたわれている。最初はバスを止めてもらいたい所で止まらない等の苦情もあったが、重い荷物を持つ人は近くで止めてもらい、助かっているとされていることを自治会長から聞いている。安全な場所に止まらなければいけないことを、徐々に理解いただけると考えている。

<山本委員>

手を上げたら必ず止まってもらえるのか。

<まちづくり交通課長>

そのとおりである。

<山本委員>

西部地域での交通空白地等地域生活交通事業の進捗状況はどうか。また、どの地域が対象になっているのか。

<まちづくり交通課長>

本梅町、東本梅町、宮前町、畑野町の西部地域と旭町でアンケートを実施した。何度か説明しているが、進展していない。旭町では、福知山市へ視察に行かれるなど、具体的に、また着実に進められている。

<福井委員>

最近「ウィズコロナ」という言葉が出てきた。冬季には、バスの窓を開けて走れない。バス交通は、今後どのようにしていくのか所見を聞きたい。

<まちづくり交通課長>

公共交通はエコであり推奨していきたい。新型コロナウイルス感染症対策により、3密を避けるため、バス交通も避けられている。混雑する時間帯を避ける動きもあった。在宅勤務やテレワークにより、会社に行かない状況が生まれ、利用は減っている。今後、新しい生活習慣の中で、国民がどのように対応していくかはわからないが、新聞では、消毒や換気を行っているので、感染リスクはゼロになっていくことも報道されていた。公共交通の利用を優先するという、時代の流れに逆行させてはいけないと考える。

<福井委員>

「ウィズコロナ」でも、乗ってもらえるように配慮していかなければならない。京阪京都交通の経営は大丈夫なのか。

<まちづくり交通課長>

ふるさとバスとコミュニティバスの4月の乗客は、これまでの半分になっている。京阪京都交通としても、約6割の減少となっている。京阪京都交通の亀岡市内の交通事業のうち、ふるさとバスとコミュニティバスは、1割程度のものである。9割はその他の路線であるが、その大きな部分で収益が下がり、大変厳しくなっていると理解している。このことは、京阪京都交通に限ったことではなく、京都市バスやJR東海でも収益が減っているという報道があった。交通事業の収益不足に対して、国をあげた対策が必要だと考える。

<福井委員>

京阪京都交通に引かれると、亀岡はどうにもならない。公共交通の3つの柱の1つである、タクシーの乗客はどのくらい減っているのか。

<まちづくり交通課長>

人数は把握していないが、買い物代行のタクシーの話が出てきた時期で、約半分くらいになっていると聞いている。

<福井委員>

今は以前の3割しか利用がないと聞いている。買い物代行のタクシーも利用が増えないと聞いている。

<赤坂委員>

利用のないバス路線を廃止することは考えないのか。

<まちづくり交通課長>

そこで生活している方への支援は必要だと考えている。その支援をバスで支えるのか、地域主体型の交通事業で支えるのかということがある。できるだけ経費がかからず、持続可能な交通施策に切り替える必要があると考えている。

<赤坂委員>

京都タクシーは、2月で5%、3月で30%、4月で60%、5月で75%の利用減があったと聞いており、ぎりぎりの状況である。亀岡からタクシーがなくなれば大変なことになる。バスの無駄な経費を削って、タクシーチケットを市民に渡すこと等を考えてどうか。このままでは利用が減るばかりである。

<まちづくり交通課長>

利用者の利便性向上が第一になる。また、持続可能なことが必要であり、できるだけ経費を抑えて有効性を判断し、必要であれば方向転換を考えていく。

<赤坂委員>

できる限り、早目に判断していただきたい。要望とする。

[まちづくり推進部 退室]

10:41

3 その他

<石野委員長>

今後の委員会活動について意見を聞きたい。

<福井委員>

昨年度は城陽市へ視察に行った。今はそのようなことができるとは思ってはいないが、様子を見ながら、丹波市、丹波篠山市に視察に行つてはどうかと考える。

<赤坂委員>

昨年度のタクシー事業者との意見交換では、山間部での利用の話聞いた。バスとタクシーとの連携を考えていきたい。

<山本委員>

デマンドタクシーについて勉強していきたい。地域で実施するのはハードルが高いので、専門的にできるところを使う方法を考えていきたい。

<石野委員長>

今後、新型コロナウイルスの状況を見ながら、各委員の意見を参考に、特別委員会の活動につなげていきたい。

散会 10:46